

ほん せ かい 本の世界へ! ホップ

さあ、本のせかいへぼうけんに出かけよう! みんなに読んでほしい本をあつめました。
しょうかいしている本は、宗像市民図書館にそろえています。

「タイトル」	背ラベル
表紙	著者名 出版社 出版年
	あらすじ

★…読みやすい
★★…1年生2年生にピッタリ
★★★…チャレンジ

ものがたり

「サイモンは、ねこである。」



ガリア・バーンスタイン/作
ながわちひろ/訳
あすなる書房 2017年

E
サ

サイモンは小さなねこ。にていると思っ
ていたライオンたちに、にいていないとわ
られる。でも、よく見るとみんなとくち
ようがいっしょだよ。

★

「なまえのないねこ」



竹下文子/文
町田尚子/絵
小峰書店 2019年

E
ナ

くつやのねこはレオ。本やのねこはげ
んた。みんなには名前があるけど、ぼく
には名前がない。名前をさがしに出か
けたねこが見つけたものは。

★

「ぼくはなきました」



くすのきしげのり/作
石井聖岳/絵
東洋館出版社 2019年

E
ホ

さんかん日に自分のいいところをはっ
ぴょうすることになった。どんなに考え
ても思いつかない。なきそうなぼくに
先生がそっと教えてくれた。

★

「いっぽんのきのえだ」



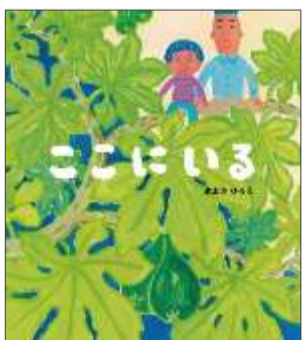
コンスタンス・アンダーソン/作
千葉茂樹/訳
ほるぷ出版 2019年

E
イ

いっぽんの木のえだがハエたたきにな
った。アジアゾウは、木のえだでハエ
をおいはらう。木のえだはつぎにゴリラ
のつえになった。さてつぎは?

★★

「ここにいる」



あおきひろえ/作
廣済堂あかつき 2020年

E
コ

はたらくことが大すきで家ぞく思いの
お父さん。わたしが小さいころから、お
父さんといっしょにすごした時間は、と
てもやさしい時間だった。

★★

「ばあばにえがおをとどけてあげる」



コーリン・アーヴェリス/文
イザベル・フォラス/絵
まつかわまゆみ/訳
評論社 2021年

E
ハ

ファーンはばあばのえがおが大すき。
近ごろわらわなくなったばあばのため
に、「ワーイ!」ってえがおになれるもの
をさがしに行く。

★★

「マチルダとふたりのパパ」



メル・エリオット/作
三辺律子/訳
岩崎書店 2019年

E
マ

ともだちのマチルダは2人のパパとくら
している。パパとあそぶのは楽しいか
ら、パパが2人もいるくらしは楽しいこ
とも2ばいじゃないかな。

★★

「とどけ、サルハシ!」



葦原かも/作
小峰書店 2020年

913
ア

ともだちの絵をよごしてまったりようは、
うまく自分の気持ちを伝えられずに
校ていへとび出した。そこでことばを
話すテナガザルと出会う。

★★

「まいごのしにがみ」



いとうみく／作
理論社 2020年

913
イ

公園でおじさんに道を聞かれた。ふつうの人に見えたけど、じつは「しにがみ」だった。しにがみはしごと中にまいごになってしまったのだ。

★

「ふたりはとっても本がすき！」



如月かずさ／作
小峰書店 2018年

913
キ

チッタちゃんは早くたくさん本を読む。ヒippoくんはゆっくりじっくり読む。同じ本を読んだヒippoくんからかんそうを聞いたチッタちゃんは？

★★

「そのときがくるくる」



すずきみえ／作
文研出版 2020年

913
ス

ぼくは、なすがきらい。どうしても食べられない。おじいちゃんは「いつかおいしく食べられる時がくる」と言ってくれるけど、本当かな。

★★

「王さまになった羊飼ひ チベットの昔話」



松瀬七織／再話
イ・ヨンギョン／絵
福音館書店 2018年

E
オ

食べものを毎日うさぎにわけてあげたひつじかいの男の子。100日目、うさぎが男の子のねがいをかなえてくれる。うさぎの正体は？

★★★

「好きなことにながてなこと」



新井洋行／作
嶽まいこ／絵
くもん出版 2021年

E
ス

ぼくはスポーツが大すきだけど、はっぴょうするのはながて。でもできない時は友だちが手つだってくれるよ。みんなのすきにながてのお話。

★★★★

「夜をあるく」



マリー・ドルレアン／作
よしいかずみ／訳
BL出版 2021年

E
ヨ

「やくそく、おぼえてる？」とママから夜中におこされた。かぞくで町をぬけ、山のふもと、森の中をあるいていく。たどりついたところは？

★★★★

「おすしやさんにいらっしやい！」



生きものが食べものになるまで
おかだだいすけ／文
遠藤宏／写真
岩崎書店 2021年

E
オ

イカにアナゴにキンメダイ。つりあげた新せんな魚たちが、おすしになるまでをみてみよう。大切ないのちを、おいしく「いただきます」。

「巣箱のなかで」



鈴木まもる／作・絵
あかね書房 2018年

E
ス

なかのようすが見るとくべつな巣箱で、シジュウカラのヒナが生まれた。少しずつ大きくなっていくヒナを、かんさつしたきろく。

「みずとはなんじゃ？」



かこさとし／作
鈴木まもる／絵
小峰書店 2018年

E
ミ

顔をあらったり、のんだりする水。においも色もなく、すきとおっている。地きゅうの生きもののいのちをまもる水。水はすごい。

「もぐらはすごい」



アヤ井アキコ／著
アリス館 2018年

E
モ

土がいくつももり上がっている。これは、もぐらのしわざ。どうして土がもり上がるのか？土をほるもぐらのくらしや体のしくみが分かる。